

μ-Slide I を脂質単分子膜でコーティングする方法

使用した脂質： Stearoyl-Oleoyl-Phosphatidylcholine (SOPC : ステアロイル-オレオイル-ホスファチジルコリン)

使用したμ-Slide : ib80111 (滅菌済み)

乾燥脂質の調製 (脂質をクロロホルムで抽出する場合のみ必要) :

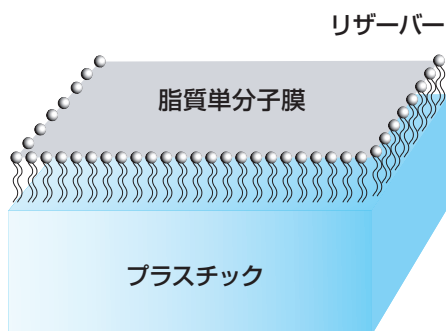
溶解した脂肪1mgをきれいなガラス容器に入れます。窒素を軽く吹き付けてクロロホルムを除去します。残りのクロロホルムは、開けたままのガラス容器を真空チャンバー内に数時間入れて除去します。

脂質溶液の調製 :

きれいなガラス容器内で乾燥脂質1mgをmilliQ水=イソプロパノール混合液 (700μl : 300μl) 1mlに溶解します。30秒間ボルテックスします。溶液が完全に透明でない場合には、溶液が完全に透明になるまでイソプロパノールを慎重に滴下してください。

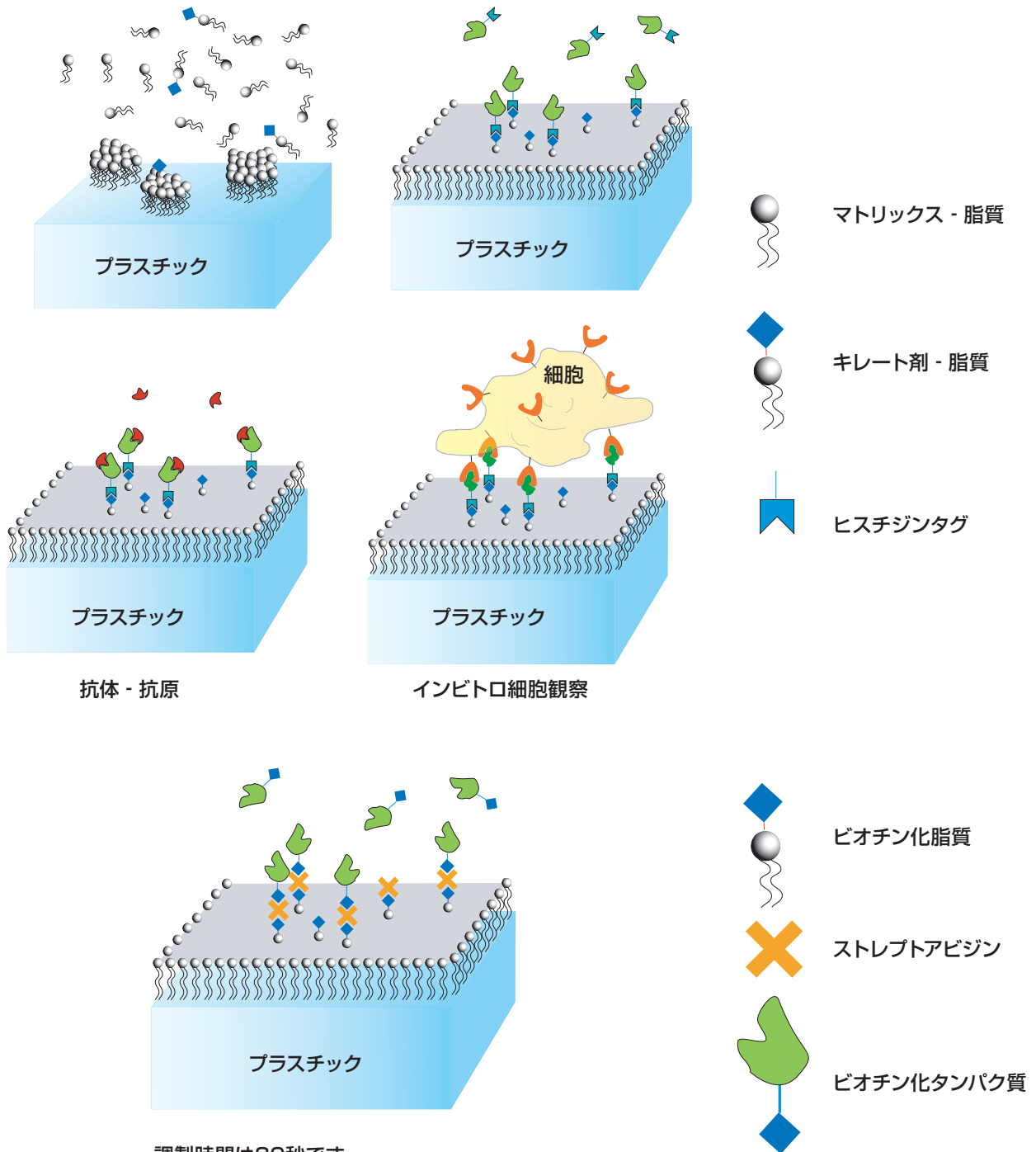
脂質表面コーティングの調製

チャンネルに脂質溶液0.1mlを添加します。脂質溶液を純粋な水と交換するために、純粋なmilliQ-水を2個のリザーバーのうち1つ (リザーバー 1) にゆっくりと添加します (30秒間に約1mlを添加してください)。容器2から液体を連続的に除去します。広い範囲を純水でリンスして、アルコールを完全に除去します。



μ-Slide I チャンネル内断面図

脂質コーティングの例



調製時間は30秒です
 結合部位は均一に分布しています
 タンパク質は変性しません
 非特異的結合はありません